

スギ花粉症予防効果ペプチド含有イネの増殖と生物多様性影響評価

(栽培実験期間:平成18年度)

確認項目		確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について	本栽培実験では、隔離距離による交雑防止措置を行っています。同種栽培作物までの距離が30m以上(約32m)ある事を確認しました。(研究所の外の同種栽培作物のほ場との距離は約450m)。
	○モニタリング措置について	交雑の有無について、1期作目については、28,536粒調査した結果交雑粒は確認されませんでした。同じく2期作目については、12,095粒調査した結果交雑粒は確認されませんでした。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について	実験種子以外と区分した管理、ビニール袋等を使用した運搬管理、また、田植え後、防鳥網の設置により拡散防止を実施している事を確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について	一部専用機械等を使用している事、また、それ以外の機械等は、実験区画外搬出の際の洗浄を実施している事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について	1期作目、2期作目ともは密閉容器に入れる等により他の作物と区分して保管している事を確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について	処理については、株、ワラ、籾殻等については隔離ほ場内で鋤込み処理した旨を確認いたしました。また、隔離ほ場外への搬出については、1期作目は、密閉容器に入れて搬出する等によりこぼれ落ちを防止した事を確認しました。2期作目についても籾の一部を搬出する際は、密閉容器に入れて運搬した事を確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて	1期作目及び2期作目栽培終了後、次期作に組換えイネの実験栽培を実施していることを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について	平成18年3月14日に公表された事を確認しました。
	○説明会の開催等について	説明会が平成18年3月18日に開催された事を確認しました。また、本実験への問い合わせの対応及び見学の受け入れを実施している事を確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について	説明会の開催等、本実験の経過について12件の情報がホームページに掲載されている事を確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について	栽培、処理終了及びモニタリング結果について、平成19年2月19日にホームページに掲載されたことを確認しました。また、実験結果の概要が平成19年5月9～11日開催の説明会にて発表されていることを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名して管理体制を整備している事を確認しました。	

農業生物資源研究所 隔離ほ場



平成18年10月6日(金)撮影

農業生物資源研究所 隔離ほ場外モニタリング試験



平成18年10月6日(金)撮影